

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	中医臨床実技 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	実習室
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資 格				
《授業科目における学習内容》						
「証(東洋医学的な診断結果)」にのっとった施術(弁証論治)を出来るようになる。 また、自身の施術の正誤を検証できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
授業での取り組み方や提出物に対する評価点：30 % 期末評価：70 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
白衣 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
普段から弁証論治を意識し、顔色・舌・脈・経絡・経穴の状態を確認した上で、健康状態を良くすることを目的とした鍼灸を 実践してみること。						
《履修に当たっての留意点》						
自分の心身に起こった不調を、自分の臨床力を向上させるための材料として前向きに捉え、まずは自分自身で、あるいは クラスメイトと協力して、弁証論治をしようとする習慣を身に付けていってください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	実技パートナーの心身を改善していくための方向性を見付ける(再弁証)。	配布プリント 鍼灸道具	中医診断実技(前期) の復習	
		各コマに おける 授業予定	返却された前期提出済みカルテの検証			
第2回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	自身の実技の組み立ての説明と実践ができる。	配布プリント 鍼灸道具	中医診断実技(前期) の復習およびカルテの 再検証	
		各コマに おける 授業予定	中医診断に基づいた臨床実技実践(基礎)			
第3回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	自身の実技の組み立ての説明と実践ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施 術の検証	
		各コマに おける 授業予定	中医診断に基づいた臨床実技実践(基礎)			
第4回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	自身の実技の組み立ての説明と実践ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施 術の検証	
		各コマに おける 授業予定	中医診断に基づいた臨床実技実践(基礎)			
第5回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	自身の実技の組み立ての説明と実践ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施 術の検証	
		各コマに おける 授業予定	中医診断に基づいた臨床実技実践(基礎)			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標 自身の実技の組み立ての説明と実践に加え、有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 中医診断に基づいた臨床実技実践(発展)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標 自身の実技の組み立ての説明と実践に加え、有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 中医診断に基づいた臨床実技実践(発展)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標 自身の実技の組み立ての説明と実践に加え、有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 中医診断に基づいた臨床実技実践(発展)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標 自身の実技の組み立ての説明と実践に加え、有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 中医診断に基づいた臨床実技実践(発展)		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標 自身の実技の組み立ての説明と実践に加え、有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 中医診断に基づいた臨床実技実践(発展)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標 実技パートナーの心身を改善していくための施術の実践と、その有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 鍼灸臨床実技実践		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標 実技パートナーの心身を改善していくための施術の実践と、その有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 鍼灸臨床実技実践		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標 実技パートナーの心身を改善していくための施術の実践と、その有効性の検証ができる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 鍼灸臨床実技実践		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容を適切に実践できる。	配布プリント 鍼灸道具	前回の診断および施術の検証
		各コマにおける授業予定 総合練習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容を適切に実践できる。	配布プリント 鍼灸道具	これまでの学習内容の復習および検証
		各コマにおける授業予定 確認実習・まとめ		